

Q & A (よくある質問)

1 共学について

Q1： 共学になることで今までとどのような点が変更になりますか。(学科、部活動、施設の改善はありますか)

A1： 本校の特色ある教育活動をさらに魅力あるものにするため学科再編を行うこととし、これらの学びをすべての生徒に受けていただくために共学としたところです。これまでの商業科・情報処理科・国際経済科を「**ビジネスクリエイト科**・**情報イノベーション科**」に変更し、新たに体育科として「**アスリートスポーツ科**」を設置しました。

女子生徒の部活動についてはパンフレットやHPをご覧ください。

施設については、女子の受入れに必要な施設【女子トイレ（※教室棟・産振棟1F・グランド）と女子更衣室（※産振棟1F）】を令和5年度中に整備し、それ以降も順次整備を進める予定です。

2 学科について

Q1： 新学科の定員はどうなっていますか。

A1： 「**ビジネスクリエイト科**」は3学級120名、「**情報イノベーション科**」は3学級120名、「**アスリートスポーツ科**」は1学級40名、計7学級280名の募集定員となります。

Q2： 新しい学科はどのような特色がありますか。

A2： 「**ビジネスクリエイト科**」では、商業に関する専門的な学習を通して、幅広い分野で活躍するために必要なビジネスに関する基礎知識やビジネスマナー、実社会で役立つ多彩なスキルを身に付ける学習を行うとともに、経営に必要な内容のほか、将来、起業するために必要な知識・技術について学べる教育内容としています。また、2～3年で課題研究（探究学習）が週当たり8時間設定され、希望に応じて7つのコースから選択できます。

「**情報イノベーション科**」では、情報に関する専門的な学習を通して、より高度なプログラミング学習やネットワークに関する知識と技術を習得し、これからの情報化社会で活躍する技術者の育成を目指します。さらに、SNSについての利活用やゲームプログラミングなど、エンターテインメント分野に関しても理解を深める実践的な学びを行います。また、2～3年で課題研究（探究学習）が週当たり8時間設定され、希望に応じて7つのコースから選択できます。

「**アスリートスポーツ科**」では、体育に関する専門的な学習や運動部活動を通して、より高度な体育・スポーツに関する知識と技術を修得し、全国・九州大会で活躍するトップアスリートの育成を目指します。

Q 3 : 課題研究について、希望通りのコースで学べますか、2年と3年では違うコースを選択できますか。

A 3 : 希望通りのコースを選択できます。2年と3年で違うコースを選択することもできます。

Q 4 : 「ビジネスクリエイト科」の「課題研究」グローバル・クリエイトコースでは、中国語と韓国語の履修をどのように計画していますか。

A 4 : 週4時間の授業のうち2時間をネイティブの先生から指導していただき、残りの2時間はグローバル経済などについての探究学習を行います。

Q 5 : 他の学科に入学して、「アスリートスポーツ科」の7つの専攻種目の部活動に入部できますか。

A 5 : 部活動には全ての生徒が入部できます。

Q 6 : 「アスリートスポーツ科」に入学し、外部の部活動(クラブチーム)に所属してもいいですか。

A 6 : 受け入れは可能ですが、授業として行う専攻種目の活動(週あたり6時間)は学校内となります。

Q 7 : 「アスリートスポーツ科」の「スポーツ総合演習」は7種の専攻種目の練習時間と考えて良いですか。

A 7 : スポーツ総合演習は主に外部講師等を活用し、スポーツに関する学びを深める時間です。例えば、「スポーツ栄養学」「テーピング」「大学出前講座」「SAQトレーニング」などです。専攻種目の強化は「スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」で行い、週当たり6時間となります。

3 入学概要について

Q 1 : 「アスリートスポーツ科」の入学生は7種の専攻種目の競技者に限られるのですか。

A 1 : 全ての種目の競技者が受検できますが、実技検査においては7種の専攻種目から1種目選択して実施します。

Q2 : 「アスリートスポーツ科」の推薦は定員の何%でしょうか。

A2 : 定員 40 人の 70% (28 人) となります。

Q3 : 「アスリートスポーツ科」の推薦試験選考基準について、セレクション（実技検査）は実施しますか、男女の比率や女子生徒の選考基準はどうなりますか。

A3 : 選考方法については、中学校長の推薦書、調査書等の記録、ビジネスクリエイト科・情報イノベーション科では本校で実施する作文と面接、アスリートスポーツ科においては面接と実技検査等の結果を総合して行います。

※ アスリートスポーツ科の専門技能検査については、次の①～⑦から選択し実施します。

専門技能検査 : ① 陸上競技 (男・女) ② 相撲 (男・女) ③ 剣道 (男・女)

④ バドミントン (男・女) ⑤ バレーボール (男)

⑥ ソフトテニス (男) ⑦ 硬式野球 (男)

※ 実技検査の詳細については、12月上旬に配布予定の「推薦入学者選抜募集要項」で御確認ください。

※ 男女の比率や女子生徒の選考基準は設けていません。

Q4 : 「アスリートスポーツ科」が不合格となった場合、他の学科への転科合格は可能ですか。

A4 : 一般入学者選抜においては学科を併願することができます。推薦入学者選抜においては一人1学科となります。

Q5 : 部活動推薦で入学を考えている生徒にとって、「アスリートスポーツ科」と商業に関する学科ではどちらを選択した方がよいですか。

A5 : 専攻種目の競技力向上を優先させたい場合は「アスリートスポーツ科」、部活動と商業の学び（資格取得など）を両立させたい場合は商業に関する学科の選択が望ましいと考えます。

Q6 : 推薦事項について、部活動以外（例えば、生徒会活動、ボランティア活動、ゲーム活動など）の項目は作られますか。

A6 : 「アスリートスポーツ科」は学科の特性などからスポーツ活動に限られますが、「ビジネスクリエイト科」や「情報イノベーション科」では、生徒会活動やスポーツ活動、文化活動、奉仕活動、特定の教科等の項目で志願することができます。

4 学校生活について

Q1：通学方法について教えてください。

A1：①徒歩 ②自転車 ③単車 ④バス（最寄りバス停：日枝神社下⑤市電 ⑥JR（鹿児島駅もしくは鹿児島中央駅からバス）などがあり、市営バスや南国交通のバス利用は全体の4割程度、徒歩・自転車が5割程度となっています。

Q2：女子生徒の寮はありますか。

A2：現時点では、女子寮の確保はできていません。近隣の民間下宿や寮等を御紹介します。

5 中学生一日体験入学での質問

Q1：トレーニング機材は誰でも使えますか。

A1：「アスリートスポーツ科」の授業と各部活動での使用が優先となりますが、それ以外の時間では利用可能です。

Q2：自転車のヘルメットはどうなっていますか。

A2：道路交通法が改正され、すべての自転車利用者に乗用車ヘルメットの着用が努力義務となりました。本校ではヘルメットの着用を推奨しています。

Q3：サッカー部は女子が入部したらプレーできますか。

A3：入部を希望される生徒の数によっては少人数による練習や大会出場（合同チーム等）となることが考えられます。

Q4：鹿商から中学校の教師になれますか？

A4：現在、小学校、中学校、高校それぞれに鹿商卒で教師となり活躍されている方が多数います。十分可能です。

6 第3回中高連絡会での質問

Q1：入試時にインフルエンザ、コロナ感染者に対する別室受験は可能ですか。

A1：体調不良、風邪、インフルエンザ、コロナ感染者などに対しては、別室での受験を予定しています。「令和6年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜実施要綱」に準じて対応します。

Q 2 : 願書の県・市統一用紙はいつ出されますか。

A 2 : 12月上旬に配布予定です。

Q 3 : 「アスリートスポーツ科」に関して、強化指定部活動はありますか。

A 3 : 強化指定部はありません。専攻種目として7つの競技が設定されています。

専攻種目 : ① 陸上競技 (男・女) ② 相撲 (男・女) ③ 剣道 (男・女)

④ バドミントン (男・女) ⑤ バレーボール (男)

⑥ ソフトテニス (男) ⑦ 硬式野球 (男)

Q 4 : 「アスリートスポーツ科」において、怪我などでその種目ができなくなった場合、他の科へ編入できますか。

A 4 : 教育課程が異なることから、他の学科への編入はできません。

Q 5 : 「アスリートスポーツ科」では、高校入学後に中学校と違う種目を選択する生徒を求めていますか。

A 5 : 例えばサッカーをしていた生徒が陸上競技をはじめると考えられますので、御相談ください。

Q 6 : 寮、下宿はありますか。

A 6 : 本校には紫雲寮、桜岳寮があり、近隣には下宿があります。

Q 7 : 女子の部活動の顧問、指導者はどのようになる予定ですか。

A 7 : 女子の受け入れ可能な部活動についてはパンフレット等に示しています。それぞれに顧問を配置する予定です。

Q 8 : 今回の学科編成で商業の枠に収まらない多様な学びができる学校になりました。校名もこうした未来的な名前に変わることはないのでしょうか。

A 8 : 新生「鹿児島商業高等学校」となりますが、創立129年の歴史と伝統が込められた校名については、これからも継承してまいります。

Q9：アスリートスポーツ科のトップ選手ともなると遠征も県外が多くなります。年間の遠征費など目安を教えてください。

他県では、スポーツ科のある高校に強化費が配分されていると聞きます。鹿児島市からの助成処置等はあるのでしょうか。

A9：年間の遠征費は各部活で異なりますので目安をお示ししかねます。

鹿児島市からの助成費等はありませんが、学校内で遠征費や同窓会奨学金などの部活動生に対する支援制度があります。

7 鹿商オープンキャンパスでの質問

Q1：学食は、一年生から利用できますか。お弁当購入はありますか。

A1：学食利用についての制限はありませんので、全学年が利用可能です。弁当購入についても前売りの食券を購入し、昼食時間に弁当と引き換えるようにしています。

Q2：部活動は必ず入部しなければなりませんか。

A2：部活動の入部に関しては、生徒自身の希望となっています。

Q3：何時に登校ですか。

A3：8時30分までの登校となります。8時25分に各教室への入室を呼びかけ、落ち着いて一日の始まりを迎えられるようにしています。

Q4：女子生徒の服装容疑に関する校則などはどのようになりますか。

A4：令和6年度の共学化に向けて検討中ですが、男子生徒と同様にビジネスシーンを意識した校則となります。